

平成 27 年 度

事業報告書

自 平成 27 年 4 月 1 日

至 平成 28 年 3 月 31 日

公益財団法人釜石・大槌地域産業育成センター

◆公益財団法人釜石・大槌地域産業育成センター 平成 27 年度事業活動報告

東日本大震災から 5 年目となり、被災した地域企業が復旧から復興、再生へと新たな段階を迎えるなか、企業連携による事業活動の活発化、新たな市場の確保への取り組み、技術高度化など地域企業の課題に対する支援、地域資源を活用した商品開発などを行い、地域企業の経営基盤の強化と活性化に取り組みました。

新素材、加工産業の振興のための高度ものづくり産業推進事業では、大阪等の企業との交流・連携推進、コバルト合金やFRPの複合材料に関する研修、3次元造形などものづくり技術の研修やマネジメント指導などを行いました。

海商工連携推進事業では、地域でのイベントを意識した甲子柿スムージーなど新商品の開発や水産加工業者の商品の販路拡大を推進しました。地域資源・バイオテクノロジーを活用した地域資源活性化事業では、はまゆり酵母やキクイモを活用した商品開発のための研究会を行いました。いわて希望ファンドを活用した事業では、地域企業が自主的に取り組む新製品研究会への支援メンバーの招聘や経営課題に取り組む地域企業への専門家の派遣、展示会出展への支援を行いました。

このほか大槌町の企業マッチング情報調査、キッチンカープロジェクトや林業スクールに対する支援、地域企業の交流の場となる企業交流プラザや高校生を対象とした産業フェアなどを行いました。

また、沿岸地域における新たな産業の創造の契機となるべく釜石市沖の海洋エネルギー実証フィールドを活用した波力発電の研究開発に中核機関として取組むとともに、海洋エネルギーの産業化へ向けた研究会の発足など、海洋再生可能エネルギーに関連する技術課題への取組みを支援する体制を整備いたしました。

一方で、被災地に対する様々な支援が、5年間という一つの節目を迎えたことで平成28年度以降の地域企業に対する支援の仕組みにも見直しが進められたことから、これまでの事業の成果を踏まえて、新たな事業展開を模索した年度でもありました。

そうしたなかで当センターに入居する岩手大学ものづくりサテライトの研究開発機能を活用した地域企業に対する技術支援を、28年度に実施することといたしました。

さらに海洋エネルギーの研究開発は、委託機関であるNEDOの中間審査を経て、平成29年度まで現在の取組みが継続されることとなり、これと併せて、岩手県、釜石市による海洋エネルギー産業化への支援も継続する方向にあります。

なお、これらの事業の実施にあたっては、行政、大学、産業支援機関、団体等との連携により、被災地で様々な経営課題に取り組む地域企業に対する、解決のためのより具体的な支援となるよう、さらに次のステージのためのステップアップにつながるよう取組みを進めることとしており、これからも産業基盤の強化と地域経済の活性化に向けて事業を推進してまいります。

【 公益目的事業 】

I 産業育成支援事業

1 研究開発・事業化支援

(1) 高度ものづくり産業推進事業（岩手県、釜石市補助事業）

当地域におけるコバルト合金をはじめとする特殊合金産業の基盤強化とクラスター化を図るため、研修会や専門家等からの技術指導を通じて、高度ものづくり技術と企業連携による高付加価値加工技術の向上を推進。また、当該事業の実施により、当地域が高度ものづくり加工の集積地となり、他地域企業の誘致も波及効果として目指すもの。これにより、地域中小企業の受注増、雇用の確保、地域の活性化を推進した。具体的な事業内容は下記のとおりである。

①ものづくり地域との連携

・展示会の開催（ビジネスマッチングin釜石）

釜石地域とこれまで企業間連携を深めてきた大阪地域、福島県会津地域の県外地域ほか、北上地域などの県内の各地域の企業を招き、製品展示や製品発表を行う展示会を開催し、企業間で情報交換を行うことにより、ビジネスマッチングを促進。展示会の開催にあたっては、各連携先の関係機関等の助言指導を行うことにより、参画企業の発信力強化や人材育成を図りながら実施した。

【展示会（企画展）】

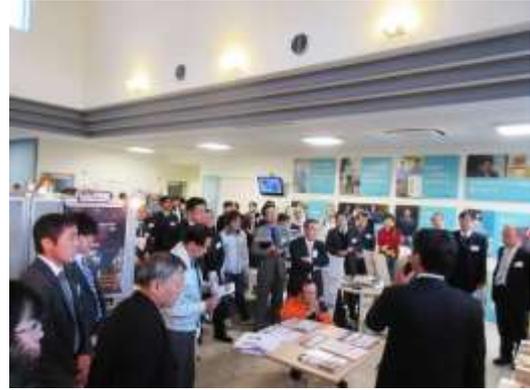
| 開催日 | 開催概要 |
|------------------------------|---|
| H28. 1. 12 ～ H28. 2. 5 | 会場：（公財）釜石・大槌地域産業育成センター 特設展示場 出展企業：34社 〔釜石・大槌企業 16社〕 （有）アール、（株）石村工業、（株）エイワ、（有）エムテック、（株）釜石電機製作所、小松製作所、（株）ササキプラスチック、（株）三陸技研、（株）千田精密工業、（株）テツニックス、同和鍛造（株）、南部屋産業（株）、（株）プラシーズ、（株）プラネックス、（株）山岸産業、（社）和RING-PROJECT 〔盛岡地域 1社〕 （株）TACT興業（雫石町） |

| | | |
|--|---|---|
| | <p>〔北上・奥州企業 3社〕 (株)佐々木印刷(北上市)、 及源鑄造(株) (株) デジアイズ(以上奥州市) 〔気仙地域 1社〕 ゆわて吉田工業(株)(大船渡市) 〔会津地域 2社〕 玉川エンジニアリング(株)、東北リズム(株) 〔大阪企業 11社〕 (株)河合電器製作所、カワソーテクセル(株)、(株)阪口文化堂、杉山金属(株)、ハードロック工業(株)、(株)PRD、枚岡合金工具(株)、福地金属(株)、双葉塗装(株)、マツダ(株)、マツモラ産業(株)</p> |  |
|--|---|---|



【ビジネスマッチングin釜石】

| 開催日 | 開催概要 | 備考 |
|------------|---|---------------------|
| H28. 1. 21 | <p>「ビジネスマッチング in 釜石」講演会 会場：釜石ベイシティホテル 参加企業：大阪地域、福島県会津地域、岩手地域企業、ほか関係者 内容：【各地域より事例紹介】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大阪地域 ・福島県会津地域 ・北上地域 ・釜石・大槌地域 <p>【企画展出展企業によるプレゼン会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記企画展出展企業より紹介 | <p>参加者 65人</p> |



【工場見学会】

| 開催日 | 開催概要 | 備考 |
|------------|--|------------|
| H28. 1. 22 | 「ビジネスマッチング in 釜石」工場見学会 訪問先：株式会社千田精密工業大槌工場、株式会社エイワ（本社） | 参加者 22人 |



ビジネスマッチング in 釜石の事業効果

大阪地域や北上地域との連携を継続して実施したことにより、各地域の企業間での共同研究の試みや技術情報交換が活発に行われた。これにより、商談の成立・共同研究開発・代理店契約等の成果が得られた。また、地域外の企業と交流連携することの有効性が実証され、今後の継続が望まれている。

②ものづくり企業の経営高度化研修

・事業主向け研修

県内の事業主、特にコバルト合金をはじめとした素材提供地域を担う釜石地域の事業主は、新素材・加工産業への事業参入や事業拡大を進めるにあたり、企業に

における経営戦略の確立が重要となる。このため、釜石地域の事業主向けに、MOT（技術経営等）や市場動向に関する研修等（個別指導）を行い、企業における経営高度化や雇用の維持確保の推進を図った。

【MOT実践指導】5回コース（7回実施）

| 回 | 開催日 | 内容 | 備考 |
|-------------------|--------------------|--|---------------------------------|
| 第1回 | H27. 7. 27 | 内容：支援内容等の説明、実態(現況)調査 場所：釜石・大槌地域産業育成センター 講師：日本技術士会経営工学部会 阿津沢潔 氏 | 対象企業 2社 ・テツニックス ・エムテック |
| 第2回 | H27. 9. 3 ～4 | 内容：課題の抽出と具体的な改善策検討、 事業計画策定のための詳細情報入手 と分析 場所：(株)テツニックス、(有)エムテック 講師：日本技術士会経営工学部会 阿津沢潔 氏 | 同上 |
| 第3回 | H27. 10. 23 ～24 | 内容：具体的な改善策検討、実行計画整理 場所：(株)テツニックス、(有)エムテック 講師：日本技術士会経営工学部会 阿津沢潔 氏 | 同上 |
| 第4回 | H27. 12. 3 ～4 | 内容：全体構想について 場所：(株)テツニックス、(有)エムテック 講師：日本技術士会経営工学部会 阿津沢潔 氏 | 同上 |
| 第5回 (2回 実施) | H28. 1. 15 ～16 | 内容：中期事業計画 今後の実行計画のまとめ 場所：(株)テツニックス、(有)エムテック 講師：日本技術士会経営工学部会 阿津沢潔 氏 | 同上 |
| | H28. 2. 29 | 内容：中期事業計画 今後の実行計画のまとめ（2） 場所：(有)エムテック 講師：日本技術士会経営工学部会 阿津沢潔 氏 | 対象企業 1社 ・エムテック |

| | | | |
|--|------------|--|-----------------------|
| | H28. 3. 19 | 内容：中期事業計画 今後の実行計画のまとめ（3） 場所：(株)テツニックス 講師：日本技術士会経営工学部会 阿津沢潔 氏 | 対象企業 1社 ・テツニックス |
|--|------------|--|-----------------------|

【MOT 3 S実践研修】 4回コース

| 回 | 開催日 | 内容 | 備考 |
|-----|-------------|---|--------------------|
| 第1回 | H27. 9. 11 | 内容：導入、講演と整理方法、事例紹介 場所：釜石・大槌地域産業育成センター 講師：(株)I・M・D ワークス 古芝義福 氏 | 対象企業 3社 ・エイワ |
| 第2回 | H27. 11. 27 | 内容：整頓手法、現場ウォッチング、 討議 場所：(株)テツニックス 講師：(株)I・M・D ワークス 川端政子 氏、古芝義福 氏 | ・テツニックス ・山岸産業 |
| 第3回 | H28. 1. 22 | 内容：清掃手法、現場ウォッチング、 討議 場所：(株)エイワ 講師：(株)I・M・D ワークス 古芝義福 氏 | |
| 第4回 | H28. 3. 25 | 内容：3 S継続について、現場ウォッチング、 各社発表、まとめと定着化について 場所：(株)山岸産業 講師：(株)I・M・D ワークス 古芝義福 氏 | |



MOT実践指導・MOT 3S実践研修の事業効果

地方の中小零細企業が、大企業や中央で実施開催されているレベルの研修を受けて、自社に定着させるには費用を含めて大きなハードルがあり、3K（勘と経験と根性）による経営を余儀なくされていたが、今回の継続的な実施により、企業の課題・問題点が整理され、今後の指針と方向性を確認する絶好の機会となった。今後、継続して実施することと、受講する企業を増やすことで、地域全体の企業の基盤強化が図られ、雇用の創出の促進が期待される。

【市場動向研修】 5回コース（10回実施）

| 回 | 開催日 | 内容 | 備考 |
|-------------------|--------------------|--|--------------------|
| 第1回 (3回 開催) | H27. 5. 21 | 内容：全体ヒアリング、課題の聞き取り、 現況調査（1） 場所：(株)エイワ 講師：大竹国際特許事務所 代表 大竹正悟 氏 | 対象企業 1社 ・エイワ |
| | H27. 7. 21 | 内容：全体ヒアリング、課題の聞き取り、 現況調査（2） 場所：(株)エイワ 講師：大竹国際特許事務所 代表 大竹正悟 氏 | 同上 |
| | H27. 9. 25 | 内容：全体ヒアリング、課題の聞き取り 現況調査（3） 場所：(株)エイワ 講師：大竹国際特許事務所 代表 大竹正悟 氏 | 同上 |
| 第2回 | H27. 10. 20 ～21 | 内容： ターゲット市場分析 場所：(株)エイワ 講師：大竹国際特許事務所 代表 大竹正悟 氏 | 同上 |
| 第3回 (2回 実施) | H28. 1. 20 | 内容： 開拓戦略の策定（1） 場所：(株)エイワ 講師：大竹国際特許事務所 代表 大竹正悟 氏 | 同上 |

| | | | |
|-------------------|--------------------|---|----|
| | H28. 1. 28 | 内容： 開拓戦略の策定（2） 場所：(株)エイワ 講師：大竹国際特許事務所 代表 大竹正悟 氏 | 同上 |
| 第4回 (2回 実施) | H28. 2. 1 | 内容：戦略分析と今後について（1） 場所：(株)エイワ 講師：大竹国際特許事務所 代表 大竹正悟 氏 | 同上 |
| | H28. 2. 19 | 内容：戦略分析と今後について（2） 場所：(株)エイワ 講師：大竹国際特許事務所 代表 大竹正悟 氏 | 同上 |
| 第5回 (2回 実施) | H28. 3. 11 ~ 12 | 内容： 全体総括（1） 場所：(株)エイワ 講師：大竹国際特許事務所 代表 大竹正悟 氏 | 同上 |
| | H28. 3. 16 | 内容： 全体総括（2） 場所：(株)エイワ 講師：大竹国際特許事務所 代表 大竹正悟 氏 | 同上 |

市場動向研修の事業効果

企業の製造や生産管理等の技術の向上と人材の養成を進めることと同時に、製造された製品や独自技術を市場投入する技術営業戦略を備えることは必須である。今回の研修で、技術営業戦略の方向性を確認できたことは大きな成果であり、新素材を供給するという位置づけにあることから、地域全体への波及効果も期待される。

③高度ものづくり研修会の開催

・高度ものづくり研修会の開催

コバルト合金をはじめとする新素材・加工技術に関する研修会を開催する。具体的なテーマとしては、「3次元CAD」「3次元プリンタ」「3次元測定器」等の3次元造形に関する内容の“先端技術研修会”のほか、成型研削盤を活用した加工講習会も併せて実施した。高度ものづくり研修では、新素材を活用した新分野への進出という観点から、社会基盤整備やロボット開発等の特定分野に関する研修会の

ほか、新素材を活用した商品開発やプロダクトデザイン等に係る内容についても講習会を実施し、専門家から講習を受けた。当該研修実施にあたっては、内容が企業秘密や守秘義務に関わる場合には、関係企業の在職者限定とせざるを得ないが、技術的にオープンなテーマについては地域の求職者に門戸を開いて開催した。また、合同成果発表会を年2回開催し、大学教授などを講師として招聘した。

【先端技術研修】5回実施

| 回 | 開催日 | 内容 | 備考 |
|-------------------|--------------------------|---|--------------------------|
| 第1回 | H27.6.1～ 30 (計10回) | 内容：3D-CAD講習（在職者向け） 場所：岩手大学ものづくりサテライト （産業育成センター第一研究開発室） 講師：office CADMS 籠谷睦美 氏、小田中稔 氏 | 参加者 6名 (求職者 0名) |
| 第2回 | H27.8.17 ～25 (計5回) | 内容：3D-CAD講習（求職者向け基礎編） 場所：岩手大学ものづくりサテライト （産業育成センター第一研究開発室） 講師：いわてDE育成センター 小原照記 氏 | 参加者 5名 (求職者 2名) |
| 第3回 (2回 開催) | H27.12.4 | 内容：3次元測定器講習（在職者向け初級編） 場所：岩手大学ものづくりサテライト （産業育成センター第一研究開発室） 講師：office CADMS 籠谷睦美 氏、小田中稔 氏 | 参加者 3名 (求職者 0名) |
| | H28.1.13 | 内容：3次元測定器講習（在職者向け基礎編） 場所：岩手大学ものづくりサテライト （産業育成センター第一研究開発室） 講師：office CADMS 籠谷睦美 氏、小田中稔 氏 | 参加者6名 (求職者 0名) |
| 第4回 | H28.1.18 ～26 (計5回) | 内容：3D-CAD講習（求職者向け基礎編） 場所：岩手大学ものづくりサテライト （産業育成センター第一研究開発室） 講師：いわてDE育成センター 小原照記 氏 | 参加者5名 (求職者 4名) |

| | | | |
|-----|------------|---|--------------------------|
| 第5回 | H28. 3. 17 | 内容：成型研削盤研修 場所：岩手大学ものづくりサテライト （産業育成センター第一研究開発室） 講師：岩手大学工学部機械システム工学科 教授 廣瀬宏一 氏、水野雅裕 氏 （株）アマダマシンツール 吉田弘 氏、櫻井康裕 氏 | 参加者 21 名 （求職者 1 名） |
|-----|------------|---|--------------------------|



先端技術研修の事業効果

時代の要請である先端技術を体系的に継続的に受講する機会を提供することにより、求人難を打開できない地域において、ものづくり人材の確保と養成に一定の道筋が見える成果となった。

【高度ものづくり研修】 5回実施

| 回 | 開催日 | 内容 | 備考 |
|-----|------------|---|---------------------------|
| 第1回 | H27. 5. 26 | 内容：新素材活用勉強会（社会基盤整備：FRP等の新素材を活用した橋梁、歩道橋） 場所：産業育成センター応接室 講師：岩手大学工学部 大西弘志 氏 | 参加者 13名 （求職者 0名） |
| 第2回 | H27. 8. 10 | 内容：新素材活用勉強会（社会基盤整備：FRP等の新素材を活用した橋梁等の実用化、洋上風力発電に係る研究について） 場所：産業育成センター応接室 講師：岩手大学工学部 大西弘志 氏 | 参加者 18名 （求職者 0名） |

| | | | |
|-------------------|-------------|--|--|
| 第3回 | H27. 8. 21 | <p>内容：新素材活用勉強会 (水中ロボット、水産ロボット等の勉強会、釜石発の新素材開発について)</p> <p>場所：岩手大学ものづくりサテライト (産業育成センター第一研究開発室)</p> <p>講師：岩手大学工学部 三好扶 氏、萩原義裕 氏、金天海 氏 岩手大学三陸復興推進機構 柳原圭司 氏</p> | <p>参加者 35名 (求職者 0名)</p> |
| 第4回 | H27. 11. 30 | <p>内容：新素材活用勉強会 (プロダクトデザインについて)</p> <p>場所：産業育成センター中会議室</p> <p>講師：有限会社FD取締役 萩野光宣 氏</p> | <p>参加者 13名 (求職者 1名)</p> |
| 第5回 (2回 開催) | H27. 12. 22 | <p>内容：新素材活用研究会 (商品開発について)</p> <p>場所：岩手大学ものづくりサテライト (産業育成センター第一研究開発室)</p> <p>講師：岩手大学三陸復興推進機構 柴田亮 氏、菊地康仙 氏</p> | <p>参加者 6名 (求職者 0名)</p> |
| | H28. 1. 21 | <p>内容：新素材活用研究会 (商品開発について)</p> <p>場所：岩手大学ものづくりサテライト (産業育成センター第一研究開発室)</p> <p>講師：岩手大学三陸復興推進機構 柴田亮 氏、菊地康仙 氏</p> | <p>参加者 6名 (求職者 0名)</p> |



高度ものづくり研修の事業効果

製品や技術・サービスを市場投入することの重要性を確認しながら、そのための付加価値、市場優位性をいかに見出すかを地域の企業が一体的に研修することにより、地域としてのものづくり体制の基盤強化が図られた。

【合同成果発表会】 2回実施（中間報告、最終報告）

| 回 | 開催日 | 内容 | 備考 |
|-----|------------|---|-------------------------------------|
| 第1回 | H27. 10. 2 | <p>内容：第1回合同成果発表会 （釜石・大槌新製品研究会と共催にて開催） 〔活動報告〕 発表者：岩手大学三陸復興推進機構 准教授 柴田亮 氏</p> <p>〔事業報告〕 発表者：釜石・大槌地域産業育成センター</p> | <p>参加者 24名 （求職者 1名）</p> |
| 第2回 | H28. 3. 16 | <p>〔講演〕 内容：特殊合金研究開発について 講師：東北大金属材料研究所教授 千葉晶彦 氏</p> <p>〔企業発表〕 発表1：株式会社デジアイズ新規事業部 技術研究室 高橋恵 氏 発表2：有限会社エムテック 代表取締役 久保勝 氏 発表3：株式会社エイワ 金属事業部 山崎 氏</p> <p>〔事業報告・情報提供〕 発表者1：人いわて産業振興センター 発表者2：岩手大学三陸復興推進機構</p> | <p>参加者 31名 （求職者 1名）</p> |



合同成果発表会の事業効果

当発表会は今年度2回実施。第1回（中間報告）では、地域のものづくり企業の集合体である「新製品研究会」において、本事業で実施していることとその効果を共有することにより、地域としてのものづくり戦略を確認した。第2回（最終報告）では、本事業により得られた成果を共有することにより、地域としてのものづくり戦略の方向性を確認し、雇用の創出に寄与する機会とする。

④専門家による個別指導

本事業では、上記事業に加えて商品開発に向けた取り組みを行っており、最近では、コバリオン（コバルト合金：株式会社エイワ製造）を材料として、宝剣や酒器などの製造・販売を行っているが、製造する企業が保有する設備を考えると大量生産は難しいことから、量産型ではなく、高付加価値商品（高価、一点もの）を目指していく必要がある。

そこで、地域事情も熟知し高付加価値商品を販路の1つである首都圏の百貨店にも精通する専門家を招聘し、よりよい商品にするための手法やアイデア（戦略）を学ぶ勉強会を個別指導により実施。

| 回 | 開催日 | 内容 | 備考 |
|-----|----------|---|----|
| 第1回 | H27.12.7 | 場所：有限会社エムテック 講師：株式会社オフィスハル代表 アートディレクター 後藤晴彦氏 | |
| 第2回 | H27.12.8 | 場所：一般社団法人和 RING-PROJECT 講師：株式会社オフィスハル代表 アートディレクター 後藤晴彦氏 | |
| 第3回 | H27.12.9 | 場所：プラシーズ株式会社 講師：株式会社オフィスハル代表 アートディレクター 後藤晴彦氏 | |



(2) いわて希望ファンド地域活性化支援事業（いわて産業振興センター補助事業）

当地域における、ものづくり中小企業の連携による新製品開発を支援したほか、個別中小企業の様々な課題に対し、専門家派遣事業を実施した。

①新製品研究会の開催

当地域の中小企業 11 社で構成される「釜石・大槌新製品研究会」を毎月開催した。また、研究会を支援する専門家 4 名を支援チームとして委嘱し、毎月開催する研究会において、それぞれの専門的知見から助言、指導を得た。

【メンバー企業】 石村工業(株)、(株)エイワ、(有)エムテック、小松製作所、
(株)ササキプラスチック、(株)テツニックス、(株)ハートブリッジ、
(株)プラシーズ釜石、(株)ムライマシンウェルディング、(株)山岸産業、
(一社)和 RING-PROJECT

【支援チーム】 大竹国際特許事務所 代表 大竹正悟氏（知財その他戦略）、
(株)エディションズ 代表取締役 金谷克己氏（デザイン）、
office CADMS 代表 籠谷睦美氏（CAD/CAM）、
(株)TACT 興業 代表取締役 鈴木勝氏（販売戦略、商品企画）

また、講師を招聘しての勉強会を開催した。

- ・ 11 月研究会：グレゴリー・ローズ氏
(自身がデザインしたモニュメントブロンズ彫刻や精密鋳造品の紹介と、日本の印象から生まれた閃きや伝統工芸の最新テクノロジーを応用した表現についての講演)
- ・ 12 月研究会：(株)フライハイト 代表取締役 高橋智礼氏
(ゴルフクラブ (パター) の開発と販売についての講演)
- ・ 2 月研究会：(株)枚岡合金工具 代表取締役 古芝義福氏
(「失敗しないための企業連携について」と題し講演)

②セミナーの開催

- ①「プロダクトデザインセミナー」(※高度ものづくり研修と併催)

日 時：平成 27 年 11 月 30 日 (月) 15:00～18:40 (※個別相談会含)

場 所：産業育成センター 中会議室

参加者：13 名

講 師：(有)FD 取締役 萩野光宣氏

- ②「3次元測定器講習会」(※先端技術研修と併催)

日 時：(A-1 回目)平成 27 年 12 月 4 日 (金) 10:00～17:00

(B-1 回目)平成 28 年 1 月 13 日 (水) 10:00～17:00

(A-2回目) 平成 28 年 2 月 10 日 (水) 10:00~17:00

(B-2回目) 平成 28 年 2 月 12 日 (金) 10:00~17:00

場 所：岩手大学ものづくり釜石サテライト (産業育成センター内)

受講者：9名 (A日程：3名、B日程：6名)

講 師：office CADMS 代表 籠谷睦美氏、
テクニカルマネージャー 小田中稔氏



③専門家派遣事業の実施

地域中小企業が抱える経営、技術、人材、販路等の課題解決に向けて、専門家派遣事業を8社に対し計18回実施した。

【実施企業及び専門家】

- ①石村工業(株) (専門家：食と農研究所 代表 加藤寛昭氏)
案件：販路開拓
- ②(株)ハートブリッジ (専門家：元気化研究所 代表 佐藤和也氏)
案件：製品開発及び販売戦略
- ③(株)津田商店 (専門家：(株)CCL 代表取締役 佐々木正人氏)
案件：従業員の人材育成
- ④(有)宝来館 (専門家：(合)地域計画 代表社員 熊谷智義氏)
案件：新規プロジェクトの立ち上げ
- ⑤(株)プラシーズ釜石 (専門家：office CADMS テクニカルマネージャー 小田中稔氏)
案件：3次元CAD活用
- ⑥(株)釜石ヒカリフーズ (専門家：(一社)新興事業創出機構 理事長 鷹野秀征氏)
案件：ブランディング、販路開拓
- ⑦(株)山岸産業 (専門家：鈴木功氏)
案件：経営革新計画
- ⑧(株)ササキプラスチック (専門家：鈴木功氏)
案件：設備導入

④展示会への出展

販路開拓を図ることを目的に以下の展示会に出展した。

【展示会】

①「防災用品展」

会 期：平成 27 年 5 月 18 日（月）～10 月 30 日（金）

会 場：静岡県地震防災センター 防災用品展示コーナー

出展物：石村工業㈱「クラフトマン ペレット・薪兼用ストーブ」、
㈱山岸産業「非常用ハイブリット式発電機」

②「インターナショナル・ギフトショー」

会 期：平成 28 年 2 月 3 日（水）～2 月 5 日（金）

会 場：東京ビッグサイト

出展物：釜石・大槌新製品研究会「宝剣 輝の御剣」、「高級酒器 JOIN」、
「印鑑 輝の印章 夢結歩」

③「震災対策技術展」

会 期：平成 28 年 2 月 4 日（木）～2 月 5 日（金）

会 場：パシフィコ横浜

出展物：石村工業㈱「クラフトマン ペレット・薪兼用ストーブ」、
㈱山岸産業「非常用ハイブリット式発電機」



(3) NEDO海洋エネルギー技術研究開発事業（NEDO委託事業）

岩手県及び釜石市では、海洋エネルギー分野を当地域の重点新産業分野と位置付け、産学官連携により新事業開発に取り組んでいる中、平成 27 年 4 月に釜石市沖が国内 7 番目の海洋エネルギー実証フィールドとして採択された。

本研究開発により、将来的に当地域が海洋エネルギーの研究開発、実験エリアの拠点として、それに付帯する業種の誘致のほか、地域中小企業が関連事業に参画することにより、新事業の創出や地域経済の活性化につなげるもの。

①研究テーマ 「リニア式波力発電技術の研究開発」

②研究開発内容

平成 32 年以降、事業化時に発電コスト 20 円/kWh 以下を実現するために必要な波力発電デバイス及びそのアレイに関する次世代発電制御技術を開発する。

欧州で実証実験が始まったリニア式波力発電のプロトタイプを参考に、日本での将来の商業利用を主眼として、以下の技術開発を行った。

A. 次世代PTOシステムの開発

- A-1 次世代同調制御技術の開発
- A-2 リニア型発電システムの開発
- A-3 実海域波浪計測及び解析

B. 波力発電アレイ制御技術の開発

- B-1 数値シミュレーションによる解析
- B-2 水槽実験と釜石湾試験海域における模型実験

C. 次世代波力発電システムの発電コスト評価

- C-1 リニア式発電デバイスのコンセプトの検討
- C-2 係留システムと設置工事のコンセプトの検討
- C-3 発電コストの評価

※当センターは、研究開発項目 C. 次世代波力発電システムの発電コスト評価を担当しており、スペインの先進企業に波力発電装置のコストデータの作成を発注して、そのデータを検証することにより、平成 32 年以降の設置を想定している、世界最先端の日本型波力発電装置のコストの試算を行った。

③研究開発メンバー

公益財団法人釜石・大槌地域産業育成センター

国立大学法人東京大学

国立大学法人東北大学

国立大学法人横浜国立大学

独立行政法人海上技術安全研究所

④研究員の雇用

東京大学生産技術研究所内に「産業育成センター海洋エネルギー室」を設置し、その分室勤務の研究員 3 名（前東京大学特任教授 2 名、大手造船企業 OB 1 名）、研究補助員 1 名を研究開発の専任として雇用している。

⑤全体会議の開催

当センターが幹事役となり研究メンバー全体による会議を開催した。

（第 1 回）平成 27 年 5 月 22 日（金）東京大学生産技術研究所

（第 2 回）平成 27 年 7 月 8 日（水）

（第 3 回）平成 27 年 9 月 16 日（水）東北大学 LG 研究開発センター

（第 4 回）平成 27 年 12 月 9 日（水）東京大学本郷キャンパス

（第 5 回）平成 28 年 1 月 28 日（木）東京大学生産技術研究所

⑥推進委員会の開催

研究開発についての外部評価を得るために、外部委員 2 名（日本海事協会、大手民間造船企業技術者）を推進委員に選任し、NEDO プロジェクトリーダー、担当者同席による会議を開催した。

（第 1 回）平成 27 年 7 月 17 日（金）東京大学生産技術研究所

（第 2 回）平成 27 年 10 月 22 日（木）海上技術安全研究所

⑦研究開発の成果等

本研究開発では、リニア式発電機の利用と制御技術の高度化により、発電能力を従来比 3 倍に高めることを明らかにした。また、発電出力のゲインを損なうことなくアレイの構成が可能であることが示された。これら技術を実証するシステムのコストを半減程度にできれば、将来、商業化の段階での発電コストが 20 円/kWh 以下が可能になるというシナリオを示した。

※なお、平成 28 年 1 月 28 日に開催された、NEDO 評価委員会において、これら研究開発成果が認められ、平成 29 年度まで事業継続することが決定した。

(4) 海洋エネルギー産業創出支援事業（岩手県補助事業）

岩手県沿岸部に海洋エネルギー研究開発拠点を構築し、関連産業の集積や新産業創出を図ることを目的に下記事業を実施した。

①コーディネーターの配置

研究会活動をコーディネートする専門職員として、高橋修三（海洋エネルギー産業化コーディネーター、工学博士）を雇用した。

②海洋エネルギー産業化研究会の設置及び開催

海洋再生可能エネルギーの産業化に関連して、本県沿岸地域の産業強化を図るため、地域企業を中心とした研究会を発足させた。

| 開催日 | 開催概要 |
|----------------|---|
| H27. 12. 10（木） | <p>「岩手県海洋エネルギー産業化研究会 設立総会・講演会」 会 場：産業育成センター 大会議室 参加者：65名 内 容： 【設立総会】 会 長 ㈱及川工務店 代表取締役 泉修一 氏 副会長 ㈱小鯖船舶工業 代表取締役 小鯖利弘 氏 〃 ㈱エイワ 副社長 佐々木強 氏 〃 産業育成センター 専務理事 平澤政敏</p> <p>【講演会】 ①海洋エネルギー施策について （発表者：岩手県、釜石市） ②福島県の再生可能エネルギー関連産業創出の取組み （発表者：福島県産業創出課 主査 広瀬順平 氏） ③再生可能エネルギー関連産業への参入と地域企業の課題 （発表者：福島県再生可能エネルギー 関連産業集積促進コーディネーター 鈴木一 氏） ④海洋エネルギー・研究開発と地域企業のものづくり （発表者：㈱小鯖船舶工業 代表取締役 小鯖利弘 氏） ⑤EMEC・英国スコットランドの海洋エネルギー発電事業 （発表者：釜石高校生徒 EMEC 訪問団）</p> |
| H28. 1. 8（金） | <p>「ワークショップ」 会 場：産業育成センター 応接室 参加者：12名 内 容： 水中カメラ研究開発の取組み、開発実績紹介 講師：東京大学生産技術研究所 准教授 北澤大輔 氏</p> |

| | |
|---------------|--|
| H28. 3. 4 (金) | シニア協力員 水上洋一 氏 |
| | <p>「第2回研究会」</p> <p>会 場：岩手大学三陸水産研究センター 会議室</p> <p>参加者：35名</p> <p>内 容：</p> <p>【講演会】</p> <p>①海洋再生可能エネルギー開発動向について (発表者：産業育成センター)</p> <p>②試作ブイの進水、設置作業、機器動作試験について (発表者：㈱及川工務店 代表取締役 泉修一氏 高川技術設計 代表 高川真一 氏)</p> <p>③企業プレゼンテーション (発表者：㈱アサヒテクノ、KYB㈱)</p> <p>④技術開発及び機器試作について (発表者：産業育成センター)</p> |

※「海洋エネルギー産業化研究会」 会員数 (H28. 3月現在)

会員数：42社 (企業31、大学1、行政7、商工団体・支援機関3)

③研究開発費等の支援

研究開発のテーマ：「低コスト中間ブイの設計・製造及び設置工法に係る研究開発」

- ・実証フィールド海域 (水深 130m 前後) に設置することを想定し、環境への負荷が少なく、低コストのアンカーの構造及び係留方法を検討した。
- ・中間ブイを模擬する供試体 (小型模型) を製作し、水深 50m 海域での洋上試験を前提として、釜石湾内の港湾防波堤内で比較的浅い海域 (水深 30m 前後) の静穏海域において、設置及び動作確認、撤去回収の予備試験を 2 回行った。
- ・予備試験では、試作した中間ブイに波浪計測機、水中カメラを装備品として搭載し、試験運転を行った。波浪計測データについては、専門的知見を有する東京大学新領域創成科学研究科に対し研究委託を行い、取得データの解析・検証を行った。
- ・今後の工法等検証及び商業展開の検討のため、中間ブイの製作、組立、曳航、設置、撤去作業等及び水中での係留状況等を映像により記録した。

○第1回予備試験

日 時：平成28年2月9日（火） 8:00～17:00

実施場所：釜石港東第3防波堤（小鯖船舶工業ドック前） 水深26.5m海域

実施台船：及川工務店クレーン船（IHI製250t）

天候・海象：快晴、気温5℃、微風 波高：午前＝風、午後＝30～50cm



中間ブイとアンカーを海洋投入



海上での中間ブイの様子

○第2回予備試験

日 時：平成28年3月24日（木） 8:00～14:30

実施場所：釜石湾東第3防波堤（小鯖船舶工業ドック前） 水深29m 海域

実施台船：及川工務店クレーン船（IHI製250t）

天候・海象：快晴、気温7度、北の風、微風

波高：1.5m 周期：6秒～10秒



中間ブイに波浪計測機、水中カメラを搭載



海洋試験後、中間ブイとアンカー部を回収

2 情報提供関連

ホームページ及び電子メール等を活用し、当センター主催または関係機関が主催するセミナーの開催情報や国・県・市町村等の補助金の公募に関する情報等を随時提供。

また、機関誌「育成センター情報」のほか、Facebook を活用し、事業実施内容等をタイムリーに情報提供した。

その他、当センター2階ロビーにて、地域企業の製品展示を行い、パンフレットを作成し、地域企業の製品紹介を行った。



育成センターHP



育成センターFacebook

3 特許関連

地域中小企業者等が産業財産権（特許・実用新案・商標・意匠）の出願を検討する際に、先願の検索調査や出願手続き等の相談対応の他、岩手県発明協会との共催により下記事業を開催した。

『知財専門家による相談会』

<第1回>

日 時 平成27年9月9日（水）13:00～16:00

場 所 育成センター 応接室

相談員 弁護士 遠藤大介 氏

<第2回>

日 時 平成27年11月11日（水）13:00～16:00

場 所 育成センター 応接室

相談員 弁理士 村雨圭介 氏

4 交流・人材育成関連

(1)「釜石・大槌企業交流プラザ」の開催

地域における企業間・産学官の連携・交流を促進し、新規事業の創出や新たな取引の拡大等を図るため、地域中小企業者や大学、公設試験研究機関、行政及び関係機関を対象に、「釜石・大槌企業交流プラザ」を開催した。

日 時：平成 27 年 9 月 25 日（金）15:00～

会 場：産業育成センター 大会議室

参加者：96名

内 容：1. 施策説明

①釜石市産業政策について

釜石市企業立地課 係長 笹村聡一 氏

②大槌町産業政策について

大槌町商工観光課 班長 斎藤辰也 氏

③岩手県における海洋再生可能エネルギーの取組み

岩手県科学 ILC 推進室 科学技術担当課長 佐藤聡 氏

2. 講演

④地域の未来を担う次世代海洋エネルギー産業について

(公財)釜石・大槌地域産業育成センター

海洋エネルギー室 特任研究員 黒崎明

3. 釜石高校SSH事業発表

⑤海洋エネルギー理解促進パンフレットの作成について

⑥E-MEC訪問研修について

岩手県立釜石高等学校 生徒

4. 取組発表

⑦海洋エネルギー産業化研究会

(公財)釜石・大槌地域産業育成センター

海洋エネルギー産業化コーディネーター 高橋修三

⑧釜石・大槌新製品研究会

会長 山岸千鶴子 氏 ((株)山岸産業 専務取締役)

⑨商品強化勉強会

メンバー 菊地広隆 氏 ((有)小島製菓 代表取締役)

5. 情報提供

⑩岩手大学三陸復興推進機構

特任准教授 柴田亮 氏



(2) 「釜石・大槌地域産業フェア」の開催

地域中小企業の技術や取り組みを、地域の住民等に広く理解してもらうことを目的に、地域中小企業が有する技術や商品を表示する、「釜石・大槌地域産業フェア」を開催した。

日 時：平成 27 年 11 月 26 日（木）

場 所：産業育成センター

内 容：釜石・大槌地域企業の製品展示、
岩手大学、北里大学、岩手県立大学の研究紹介

対 象：釜石商工の生徒ほか



5 市場開拓支援関連

(1) 地域資源・ハイテクノロジー活用地域産業活性化事業（釜石市補助金）

当センターに入居する、北里大学感染制御研究機構釜石研究所が採取した「はまゆり酵母」など、未利用資源や地域固有の生物資源などの地域資源を活用した地元企業等の商品開発や販路開拓を支援し、地域経済の活性化を図った。

①B-1 グランプリ「三陸ぐるっと食堂」への出展

釜石はまゆり酵母を活用した成果物の周知及び市場調査を目的として、釜石市内で開催されるイベントへ出展した。

日 程：平成 27 年 8 月 29 日（土）～30 日（日）

出展物：釜石バーガー

対応者：北里大学、育成センター、市企業立地課

結 果：2 日間の開期中、両日とも用意した商品全てが完売した。（1 日目 300 個、2 日目 350 個用意）市民並びに市外からの来訪者に向けて、はまゆりプロジェクトを周知するきっかけとなった。

②地域資源活用研究会（第 1 回）

地域資源の掘り起こし並びに新たな特産品開発の加速化を図るため、専門家を招聘し、地域資源の活用に係る研究会を開催した。

日 程：平成 27 年 10 月 6 日（火）

場 所：釜石・大槌地域産業育成センター

内 容：講演「地域資源を活かした商品開発」

～お客様に選んでいただけるために～

講師 五日市 知香 氏（㈱パイロットフィッシュ）

講演「地域活性化に向けた釜石産資源の発掘と開発」

～釜石はまゆり酵母、きくいも等の可能性について～

講師 笠井 宏朗 氏（北里大学）

参加者：35 名

結 果：釜石の地域資源（釜石はまゆり酵母、キクイモ）について理解を深めるとともに、他地域での事例を含めた商品開発ノウハウを紹介することで参加者に具体的な商品開発へのヒントを提供することができた。

③先進地視察

橋野町産キクイモの活用について、キクイモによる町おこしに成功している地域を訪問し、生産者・加工業者の意識啓発を図ると共に釜石地域への横展開を検討した。

日 程：平成 27 年 12 月 1 日（火）～3 日（木）

視察先：長野県阿智村、岐阜県中津川市

参加者：8 名（キクイモ生産者、市内食品加工業者、育成センター、市担当課）

結 果：キクイモ、チコリを活用した町おこし事例を視察することで、釜石での横展開（生産者と加工業者の連携による具体的な商品開発）を考えるきっかけとなった。

④地域資源活用研究会（第2回）

釜石はまゆり酵母の供給体制の確立に向けて、中だね製パン法等、酵母の培養技術に関する講習会を開催した。

日 程：平成27年12月17日（木）

場 所：釜石・大槌地域産業育成センター

内 容：講演「白神こだま酵母の開発と利用について」

「釜石はまゆり酵母の特徴と製パン酵母としての利用方法について」

講師 高橋 慶太郎 氏（秋田県総合食品研究センター）

参加者：19名

結 果：秋田県総合食品研究センター高橋主席研究員の協力により、釜石はまゆり酵母の特性を細かく分析することで、特性を生かした商品開発に向けてのヒントを得ることができた。

⑤地域資源活用研究会（第3回）

キクイモの機能性の紹介並びにキクイモを使った料理の提案等、キクイモの利用促進に向けて研究会を開催した。

日 程：平成28年1月19日（火）

内 容：講演「キクイモの有用性について」

講師 清原 寛章 氏（北里大学）

キクイモ料理レシピ紹介

講師 千葉 星子 氏（料理研究家、タレント）

坂岡 節子 氏（NPO 法人ともいき）

参加者：38名

結 果：キクイモの機能性を理解すると共に、キクイモを使った料理レシピの提案を通して、キクイモの利用促進に向けて参加者の意識醸成が図られた。

⑥スーパーマーケット・トレードショー2016 への出展

釜石はまゆり酵母を中心とした地域資源を活用した成果物の周知及び市場調査を目的として、東京ビッグサイトで開催される展示会へ出展した。

日 程：平成28年2月10日～12日

出展物：海まん、はまゆり酵母ビール、冷凍甲子柿、甲子柿ドレッシング

対応者：育成センター、市企業立地課、甲子地区活性化協議会

結 果：全国のバイヤーが集まる展示会で、開発商品に対する生の声（評価）を聞くことができる貴重な機会となった。

⑦地域資源活用研究会関係者会議

今年度の活動を振り返ると共に、次年度に向けて関係機関の連携強化を図ることを目的として関係者会議を開催した。

日 程：平成 28 年 3 月 18 日（金）

内 容：今年度報告

- ・ 地域資源・バイオテクノロジー活用地域産業活性化事業実績報告
- ・ 釜石はまゆり酵母ロゴマーク使用規程について
- ・ 釜石はまゆり酵母・キクイモの権利関係の整理について
- ・ 成果品紹介

次年度以降の取組み

- ・ 釜石はまゆり酵母（KS6 株）の特異性を生かした商品開発について
- ・ 釜石はまゆり酵母（KS5 株）の活用について
- ・ 岩手大学地域課題解決プログラムへの申請について

その他

- ・ 釜石はまゆり酵母の保存及び供給体制について
- ・ 北里大学感染制御研究機構釜石研究所の備品について
- ・ 今後の連携体制について

参加者：11 名

結 果：当該事業の事業実績を共有すると共に、釜石はまゆり酵母とキクイモの利用促進に向けた整理が図られた。併せて、次年度以降の方向性についても整理することが出来た。

（2）海商工連携（6次産業化）推進事業（釜石市補助金）

東日本大震災から 4 年が経過し、顧客の回復・新市場の開拓・量産体制の早期確立など今なお復旧・復興に向けた課題が挙げられている一方、今年は釜石初となる道の駅の開業や、更には数年後に開催を控える「いわて国体」や「ラグビーW杯」もあるなど今後更なる交流人口の拡大が見込まれる中、それらを見据え、食に関わる新商品の開発やブランド力の強化など、地域の食産業の活性化を図ることを目的に実施した。

1 新商品開発

定期的に勉強会等を開催し、アドバイザー等からの協力を得て出口を見据えた新商品の開発を行った。新商品の開発は、勉強会参加メンバーのほか、地域内の幅広い事業者とも連携したことで、食産業の活性化が図られた。

【勉強会の実施】

| 実施日 | 内容 | 備考 |
|-------------|---|--------------------|
| H27.7.6 (月) | <p>第1回商品強化勉強会</p> <p>会場：小島かふえ</p> <p>講師：岩手県産業創造アドバイザー (株)エムシーアール 代表 大滝克美 氏</p> <p>講師：岩手県産業創造アドバイザー (株)オフィスハル 代表 後藤晴彦 氏</p> <p>内容・参加者からの近況報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度計画の確認 ・講師から事例紹介 ・試作品試食 (海まん、甲子柿スムージー) | <p>参加者 20名</p> |

【企業個別指導の開催】

| 実施日 | 内容 | 備考 |
|--------------|---|--------------------|
| H27.9.25 (金) | <p>講師：岩手県産業創造アドバイザー (株)エムシーアール 代表 大滝克美 氏</p> <p>講師：岩手県産業創造アドバイザー (株)オフィスハル 代表 後藤晴彦 氏</p> <p>訪問企業①(株)グランバー釜石工場 対応者：工場長 柏崎和美 氏</p> <p>②甲子柿生産組合 対応者：組合長 藤井修一 氏</p> | |
| H27.12.7 (月) | <p>講師：岩手県産業創造アドバイザー (株)オフィスハル 代表 後藤晴彦 氏</p> | <p>参加者 10名</p> |

【新商品の開発】

| 内容 | 備考 |
|---|---|
| <p>1) 甲子柿スムージーの開発</p> <p>「三陸ぐるっと食堂 in 釜石×B-1 グランプリ」 出展に向け、KAMAROQ 株式会社 (旧：釜石 六次化研究会) と共同で開発。</p> <p>イベント期間中 (2日間) 約 881 食を販売。 B-1 公認団体以外の県内出展団体中、個数・ 金額ともに最多。</p> |  |

今後の継続販売については、原料確保などコストの問題から検討中。

2) 甲子柿サイダーの開発

柿酢を原料に、ご当地サイダーの開発に取り組んだ。

試作後リリースの時期や製造・販売の時期、製造販売事業者の選定などほぼ決定。

来年度早々に製造販売に向け取りかかる。

本製品の発売は8月1日を予定。



3) 地酒とおつまみセット (トスター) の開発

詰め合わせする商品 (水産物) の小分け化と常温対応が課題だったが、それら課題が解決、残るパッケージ (包装形態やデザイン) の部分を検討中。



2 商談会、展示会の開催

地域の加工業者が持つ既存の商材や新商品を各種イベントに出展し、新たなビジネスチャンス拡大に繋げた。

【展示会 (物産展) への出展】

| 開催日 | 内容 |
|-------------------------|--|
| H27.8.29 (土) ~30 (日) | 『三陸ぐるっと食堂 in KAMAISHI×B-1 グランプリ』出展 場所：シープラザ釜石「遊テント」 出展品：甲子柿スムージー 販売数：881食 |

| | |
|---------------------------|---|
| H27.11.8 (日) | 『ファーム・エイド銀座2015 銀座プチ・マルシェ』 出展 場所：紙パルプ会館（東京都中央区銀座） 出展品：・甲子柿 ・甲子柿ジェラート ・ど真ん中おおつちアソート （ホヤ燻製、イカのくち煮、のしイカ） 販売数：延べ71個 |
| H28.3.1 (火) | 『釜石フェア』 開催 場所：ちよだプラットフォームスクエア（東京都千代田区神田） 出展品：・凍結甲子柿 -15個（カット100人分相当） ・甲子柿ジェラート -200（カット140個相当） ・海まん -90個 ・桜満開牡蠣 -200個 ・はまゆりエール -72本 全て飲食会にて提供（会費制） |
| H28.3.28 (月) ～4.28 (木) | ちよだいちば『釜石・大槌フェア』 開催 場所：ちよだいちば（東京都千代田区神田） 出展品：釜石12品（藤勇味噌、海まん、酒まんじゅう、 かまだんご他） 大槌19品（さんまみりん干し、ふのり、岩のり、 鮭とば、焼まつも他） |

③ 工業品等ビジネスマッチング支援事業（※管理法人：(株)北上オフィスプラザ）

この事業の管理法人である株式会社北上オフィスプラザとの連携により、ビジネスマッチングフェア開催のほか、中小企業総合展等に当地域のものづくり企業の製品を出展し、販路開拓及びマッチングを促進。事業の実施内容は下記のとおり。（当地域関連事項のみ記載）。

① 展示商談会の開催

ア) 岩手・福島・大阪復興支援交流ビジネスマッチングフェア

岩手、福島、大阪地域の企業製品展示会

時期：7月24日（金）～8月28日（金） 1カ月間

場所：東大阪市「クリエイション・コア東大阪」（モビオ）

出展企業：岩手企業15社

イ) プレゼンテーション・交流会

岩手、福島、大阪地域の企業交流会

時期：7月24日（金）13：30～19：00

場所：東大阪市「クリエイション・コア東大阪」（モビオ）

出展企業：岩手企業15社

出展企業のプレゼン／展示ブースでの製品説明

個別企業商談会／電動アシスト三輪車（株山岸産業）（試乗会）

大阪圏企業等参加者：プレゼン75人、交流会60人

◆事業成果◆

- ・商談 18件
- ・商談成立 1件
- ・商談継続 15件

ウ) 新価値創造展2015大阪会場への出展

大阪で開催される同展示会に、連携先の株大阪ケイオスブースに合同出展し、販路拡大を図った。

時期：5月27（水）日～29日（金）

場所：大阪市「インテックス大阪」

出展企業：岩手企業3社

内容：岩手ものづくり企業の開発製品展示

◆事業成果◆

- ・商談 21件
- ・商談継続 21件

エ) 新価値創造展2015東京会場への出展

事業内容：東京ビッグサイトで開催された新価値創造展に「岩手・福島復興支援交流ブース」を開設して合同出展し、復興への取り組みをアピールするとともに、首都圏での新たな販路拡大を目指した。

時期：11月18日（水）～11月20日（金）、3日間

場所：東京都江東区「東京ビッグサイト」

出展企業：岩手15社

内容：・岩手ものづくり企業の開発製品展示

◆事業成果◆

- ・商談 24件
- ・商談継続 12件

オ) 静岡県防災用品普及促進協議会とのマッチング交流

静岡県地震防災センター防災用品展示コーナーに製品展示し、防災用品の新たな販路拡大を目指した。

日 時：平成27年5月中旬～10月30日（金）

場 所：静岡県静岡市 静岡県地震防災センター

出展企業：岩手企業2社

6 復興支援関連

東日本大震災により被災した地域中小企業等の復旧と復興、事業の再生や新生に資する各種の課題解決を図るべく下記の事業を実施した。

(1) グループ補助金関係

「中小企業等復旧・復興支援事業補助金（グループ補助金）」に係る、採択後の変更申請書、概算払請求書、実績報告書等の作成支援、フォローアップを行った。

(2) 産業復興企業マッチング調査事業（大槌町企業立地支援事業）

効率的な企業立地活動の実施に繋げることを目的に、企業立地活動に必要な情報の取得、調査を実施した。

①企業マッチング調査

大槌町が行う企業立地活動を効率的・効果的なものとするため、必要な企業マッチング情報や企業信用情報の取得をした。企業マッチング情報の取得については、株式会社東京商工リサーチ盛岡支社に再委託し、抽出した1,318社について、企業概要データベースを作成し、さらに企業立地に係る意向アンケート調査を実施した。

また、11社の詳細な企業情報を取得した。

【企業概要データベース出力項目】

| | |
|---------|-------------------------|
| 基本項目 | 企業コード、商号、郵便番号、所在地、電話番号等 |
| 業 態 | 法人格、標準産業分類等 |
| 業績・業歴 | 設立年月、最新期売上高等 |
| 規模・資本 | 資本金、従業員数、株式公開区分等 |
| 代 表 者 | 役職名、氏名等 |
| アンケート結果 | アンケート調査結果 |

【意向アンケート調査項目】

- Q1 現在、事業用地（工場・配送センター等）の取得は検討されていますか？
- Q2 取得時期はいつ頃でしょうか？
- Q3 検討されている用地規模はどのくらいでしょうか？

- Q4 過去に新設・移転等を行われましたか？
- Q5 今後、どのようなきっかけがあれば、新たな拠点の整備など投資計画を進めることができると考えますか？
- Q6 今後人口の減少が見込まれる国内において、御社ビジネスの先行きをどのように予測されていますか？
- Q7 ビジネスの拡大を目指すため、または市場縮小に対する対策として、どのような施策を検討していますか？
- Q8 御社は海外と輸出取引がありますか？
- Q9 新たな拠点の整備を検討するに当たり、候補となる地域の行政団体に対し、どのような要望がありますか？
- Q10 新たな拠点の整備などの投資計画について、御社の考え方などを教えてください。

(3) かまいしキッチンカープロジェクト（独自事業）

当プロジェクトは、震災直後から被災事業者の支援や新たな事業の創出による雇用の場の確保を目的として取り組んできており、当初の目的はほぼ達成できた。

その後も、街の賑わい創出や起業家育成など一定の成果が得られたことから、最終目標である自立化へ向け具体的な取り組みを行った。

①事務局業務の移管

4月より釜石プラットフォームへ一部業務（事務局業務）を委託、以後、3月末日をもって事務局業務を完全移管した。

②車両等の維持管理

車両等資産の維持管理を行った他、キッチンカーの集積営業場所である「大町ほほえむスクエア」の改修を行った（Give2Asia 支援金により）。

③資産の譲渡

3月末日をもって車両等全ての資産の譲渡を完了。



(4) その他

- ・ものづくり補助金 申請書作成支援→1社
- ・釜石市水産業共同利用施設補助金 申請書作成支援→2社
- ・釜石市水産業復興対策事業（設備導入事業）補助金 申請書作成支援→2社

会 議 関 係

- | | |
|-------------|-------------------|
| (1) 理事会の開催 | 4回 (定例2回、臨時3回) |
| (2) 評議員会の開催 | 5回 (定時1回、決議の省略4回) |
| (3) 監事会の開催 | 1回 |

一般管理事業

- ・センターの運営、会館の管理
- ・賛助会員入会の案内、勧誘
- ・会館施設利用のPR

【 収益事業 】

I 貸館事業

【 目 的 】

地域中小企業の基盤強化や人材育成及び震災復興関連等、地域の産業再生や地域の活性化による公益の増進に資する利用者に対し、低廉な金額で財団の施設を貸し出すもの。

【 事業内容 】

- ・ 会議室（大会議室・中会議室）の有料貸出
- ・ 小会議室を貸事務所、コミュニケーションスペースをシェアードオフィスとして有料貸出

【平成 27 年度実績】

（1）大・中会議室の貸出

延べ 140 団体、収入額 2,047,200 円（税込）

（2）小会議室の貸出

2 団体：（一社）さんりく未来推進センター、有明興業(株)
<月額（税込）：21,600 円／社>

（3）シェアードオフィスの貸出

3 団体：<月額（税込）：5,400 円／社>

| No | 企 業 ・ 団体名 | 備 考(業種) |
|----|--------------|---------|
| 1 | エコテックワールド(株) | 廃棄物処理業 |
| 2 | 上閉伊地域復興住宅協議会 | 建設業 |
| 3 | (株)原川土木 | 建設業 |

II 事務受託事業

釜石地方森林組合がバークレイズグループの支援を受けて実施する「釜石大槌バークレイズ林業スクール」の運営に係る事業資金の管理を受託。

四半期毎に森林組合から事業予算の執行状況を提出してもらい、当センターが確認をしたうえで、バークレイズへ監査報告を行い、資金を支出する。

- ・ 事務受託事業名：「釜石・大槌バークレイズ林業スクール資金管理業務」
- ・ 受 託 期 間：平成 26 年 1 月 25 日 ～ 平成 29 年 3 月 31 日

- ・委託元：釜石地方森林組合
- ・資金管理額：27,526,564円
- ・委託料：2,750,000円（事務受託収入）

| | 委託料（円） | 備考 |
|-----|-----------|----|
| H26 | 328,700 | |
| H27 | 980,000 | |
| H28 | 1,441,300 | |